■高病原性鳥インフルエンザにかかる検査優先種

検査優先種１



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ヒシクイ（*Anser fabalis*）

【特徴】全長 78～100cm。嘴は黒く先に橙味を帯び、先端は黒。頭部から上面、胸、脇は暗褐色で、腹から体下面、上尾筒、下尾筒は白。足はオレンジ。

【分布】冬鳥として局地的に渡来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●マガン（*Anser albifrons*）

【特徴】全長 72cm。嘴はピンク。まれにオレンジ。嘴基部周辺が白い。足はオレンジ。全身が黒褐色。下面はやや淡い。腹に黒斑。

【分布】北海道を通過して本州で越冬。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●シジュウカラガン（*Branta hutchinsii*）

【特徴】全長 60cm。頭から頸は黒く、頬から喉に白斑がある。胸、腹は灰褐色。下腹、下尾筒は白い。足は黒色。

【分布】冬鳥として北海道、秋田県、宮城県等に飛来。

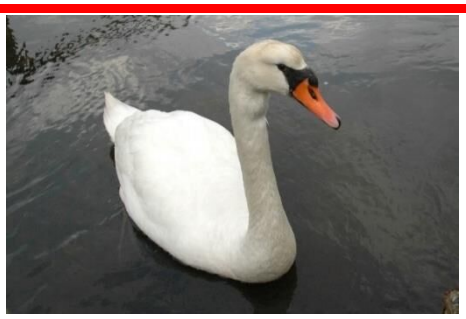


撮影：（一財）自然環境研究センター

●コクチョウ（*Cygnus atratus*）

【特徴】全長 110～140cm。全身は黒い。細長い頸。嘴は赤く先端に白い斑がある。足は黒い。

【分布】元は飼われていたものが各地で野生化。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コブハクチョウ（*Cygnus olor*）

【特徴】全長 147cm。全身は白い。細長い頸。嘴はオレンジ。基部には黒いこぶがある。足は黒い。

【分布】元は飼われていたものが各地で野生化。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コハクチョウ（*Cygnus columbianus*）

【特徴】全長 132cm。全身は白い。オオハクチョウに比べて短めの頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。オオハクチョウよりも黄色の面積が狭い。足は黒い。

【分布】主に北海道・本州で越冬。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●オオハクチョウ（*Cygnus cygnus*）

【特徴】全長 140cm。全身は白い。細長い頸。嘴は先端が黒く、基部は黄色。コハクチョウよりも黄色の面積が広い。足は黒い。

【分布】関東以北で越冬。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●オシドリ（*Aix galericulata*）

【特徴】全長 45cm。嘴は紅色で先端は白。顔は白く、頸には栗色の筋状の羽。脇は黄褐色で、三列風切羽には特徴的な銀杏羽。

【分布】主に本州中部地方以北で繁殖し、冬は西日本で越冬するものが多い。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ヒドリガモ（*Anas penelope*）

【特徴】全長 48.5cm。頭部は茶褐色で、額から頭頂がクリーム色。背面と脇は灰色で、黒い細斑がある。

【分分布】冬鳥として、全国に渡来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●キンクロハジロ（*Aythya fuligula*）

【特徴】全長 43.5cm。嘴は青灰色で先端は黒い。虹彩は黄色。頭は紫色光沢があり、後頭に房状の冠羽。

【分布】主に冬鳥。全国で越冬。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●カイツブリ（*Tachybaptus ruficollis*）

【特徴】全長 26cm。日本のカイツブリの中では最小。尾は非常に短く体は丸い。冬羽は上面が褐色で下面は淡色。

【分布】北海道から南西諸島まで広く繁殖。北日本では夏鳥、それ以南では留鳥。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●カンムリカイツブリ（*Podiceps cristatus*）

【特徴】全長 56cm。日本のカイツブリの中では最大。特に頸が長い。冬羽では頸の前側の白色と頸の後ろ側の黒色とのコントラストが特徴。

【分布】青森県と琵琶湖で繁殖が記録されているが、ほとんどは冬鳥として九州以北に渡来する。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**マナヅル**（*Grus vipio*）

【特徴】全長 127cm。眼の周囲の皮膚が赤く露出している。頭頂から後頸にかけて白く、頸から胸、腹、下尾筒までと背は灰白色。足は淡紅色。

【分布】冬鳥として、鹿児島県出水地方に渡来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ナベヅル**（*Grus monacha*）

【特徴】全長 96.5cm。嘴は黄色みを帯びる。額が黒く、眼の上は赤色。頭部から頸は白く、その他は灰黒色。

【分布】冬鳥として、鹿児島県出水地方と山口県周南市に渡来する。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ユリカモメ**（*Larus ridibundus*）

【特徴】全長 41cm。細くて暗赤色の嘴。足は赤い。全身は淡い青灰色。夏羽の頭部は褐色味の黒。

【分布】ほぼ全国に冬鳥として飛来。



撮影：小林　靖英

●**オジロワシ**（*Haliaeetus albicilla*）

【特徴】全長 84cm（雄）／94cm（雌）。全体的に褐色味を帯び、体の下方になるほど体色が濃い。尾は短く白色。嘴と足は淡黄色。

【分布】日本では北海道の北・東部で少数が繁殖するが、多くは冬鳥として北日本に飛来。



撮影：環境省

●**オオタカ**（*Accipiter gentilis*）

【特徴】全長 50cm（雄）／57cm（雌）。嘴基部と足は黄色。虹彩はオレンジ色または黄色。上面は暗青灰色、下面は白く黒褐色の横斑がある。白色の眉斑が目立つ。

【分布】留鳥としてほぼ全国で繁殖するが、南西諸島ではまれな冬鳥。



撮影：小林　靖英



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ノスリ**（*Buteo buteo*）

【特徴】全長 52cm（雄）／57cm（雌）。嘴は黒褐色で太い顎線あり。上面は褐色味が強く下腹に褐色斑あり。飛翔時、翼角の暗黒色斑が目立つ。

【分布】主に留鳥として本州中部以北で繁殖。四国・九州以南では冬鳥として飛来。

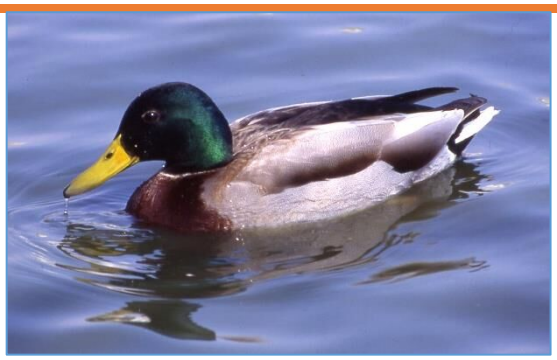


撮影：（一財）自然環境研究センター

●**ハヤブサ**（*Falco peregrinus*）

【特徴】全長 41cm（雄）／49cm（雌）。上面は暗青灰色。下面は白く、黒褐色の横斑がある。頬に目立つひげ状の黒斑がある。

【分布】留鳥として九州以北で繁殖するほか、全国に冬鳥として飛来。

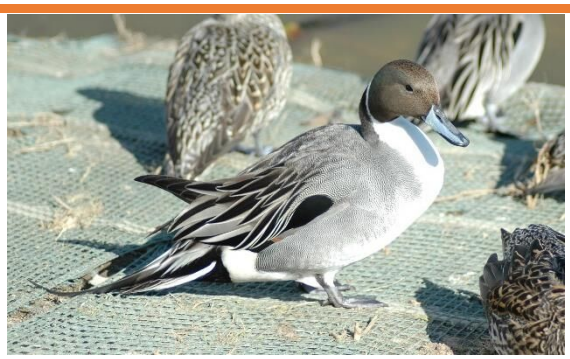


撮影：（一財）自然環境研究センター

●マガモ（*Anas platyrhynchos*）

【特徴】全長 59cm。嘴は黄色。足は濃いオレンジ色。頭は暗緑色。頸に細い白の輪。胸は茶色。

【分布】冬鳥として全国に渡来する。北海道などでは少数が繁殖。

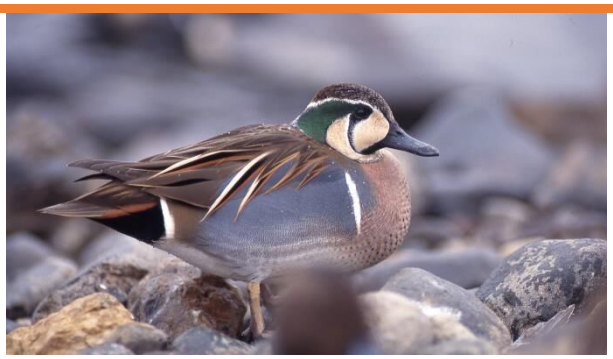


撮影：（一財）自然環境研究センター

●オナガガモ（*Anas acuta*）

【特徴】全長 75cm（雄）／53cm（雌）。嘴は黒く、両側は青灰色。頭部から後頸にかけてチョコレート色。頸と胸は白い。尾羽は黒色で細長い。

【分布】全国的に冬鳥として飛来。

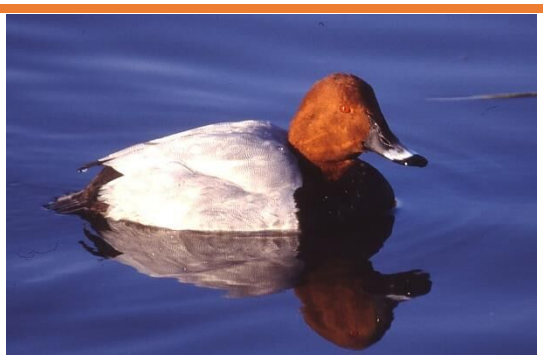


撮影：（一財）自然環境研究センター

●トモエガモ（*Anas formosa*）

【特徴】全長 40cm。顔の模様が特徴的で、黄白色、緑、黒の三色の巴形をしている。胸は赤紫褐色で脇は青灰色。

【分布】冬鳥として本州以南の日本海側に多く渡来する。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ホシハジロ（*Aythya ferina*）

【特徴】全長 45.5cm。嘴は黒く、中ほどは鉛色。足は鉛色。頭から頸は赤茶色。上・下面とも灰色で、細かい黒い波状の斑がある。胸と尻は黒。

【分布】主に冬鳥。全国に飛来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●スズガモ（*Aythya marila*）

【特徴】全長 46.5cm。オス成鳥の頭部は緑や紫の光沢色。胸と上・下尾筒は黒い。背は白いが細かく黒い波状斑がある。脇と腹は白色。

【分布】全国的に冬鳥として飛来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●オオワシ（*Haliaeetus pelagicus*）

【特徴】全長 88cm（雄）／102cm（雌）。体は全体的に黒褐色だが、額、翼前縁、腰、尾、上・下尾筒が白色。嘴は大きく橙黄色。

【分布】日本へは冬鳥として主に北日本に渡来する。




撮影：（一財）自然環境研究センター

●**クマタカ**（*Nisaetus nipalensis*）

【特徴】全長 72cm（雄）／80cm（雌）。後頭に冠羽がある。胸は白く、黒褐色の縦斑がある。飛翔時に翼の幅が広く見える。

【分布】九州以北で留鳥。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●**フクロウ**（*Strix uralensis*）

【特徴】全長 48～52cm。頭部から背は灰褐色で、褐色の縦斑が密にある。胸から体下面は淡灰褐色で褐色の縦斑がある。顔にはハート型の縁取りがある。羽角はない。

【分布】留鳥として九州以北に分布。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●コウノトリ（*Ciconia boyciana*）

【特徴】全長 112cm。全身はほぼ白色で、風切羽が黒色。嘴は長く、黒色。目の周囲は赤色。足は暗赤色。

【分布】主に留鳥。現在は再導入された個体が全国で確認されている。まれに大陸から迷行してくる。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●クロツラヘラサギ（*Platalea minor*）

【特徴】全長 73.5cm。体は全体的に白色。嘴はしゃもじ型で黒色。足は黒色。嘴と目の間が黒色であることから、別種のヘラサギと区別できる。

【分布】主に冬鳥として九州に飛来。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ハシボソガラス（*Corvus corone*）

【特徴】全長 50cm。全身は黒色。ハシブトガラスより一回り小さい。ハシブトガラスよりも嘴が細く直線的。

【分布】留鳥としてほぼ全国に分布。



撮影：（一財）自然環境研究センター

●ハシブトガラス（*Corvus macrorhynchos*）

【特徴】全長 56.5cm。全身は黒色。嘴は太く、上嘴は先端にかけて湾曲する。ハシボソガラスよりも額が出っぱっていて、額と嘴が段になってみえる。

【分布】留鳥として小笠原諸島以外の全国に分布。

（参考）

高野伸二 （2015） フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂新版. 公益財団法人日本野鳥の会

国立環境研究所ホームページ 侵入生物データベース
https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/20480.html

（R7.9 更新）

■連絡先

・環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室 TEL：03-5521-8285
・北海道地方環境事務所 TEL：011-299-1954
・釧路自然環境事務所 TEL：0154-32-7500
・東北地方環境事務所 TEL：022-722-2876
・関東地方環境事務所 TEL：048-600-0817
・中部地方環境事務所 TEL：052-955-2139
・信越自然環境事務所 TEL：026-231-6573
・近畿地方環境事務所 TEL：06-6881-6505
・中国四国地方環境事務所 TEL：086-223-1561
・四国事務所 TEL：087-811-6227
・九州地方環境事務所 TEL：096-322-2413
・沖縄奄美自然環境事務所 TEL：098-836-6400